

アルフォンス・ミュシャ

- 1860年 7月24日、イヴァンチツェ(チェコ共和国・モラヴィア地方)に生まれる
ブルノ中学校時代に聖歌隊となるが、1875年に声が出なくなる
- 1877年 プラハに行き、美術アカデミーの入試を受けるが、不合格
- 1878年 イヴァンチツェ地方裁判所の書記として働く
その後、ウィーンに行き、カウツキー=ブリオシ=ブルクハルトの舞台工房で働く
- 1881年 年末のリンク劇場焼失事件のため、工房を解雇
- 1882年 ウィーンを去り、ミクロフに向かい、その地の名士の肖像画を描いて生計を立てる
- 1883年 ミクロフに領地をもつクーエン・ブラシ伯爵に会い、弟エゴン伯爵の後援を受ける
- 1884年 秋にミュンヘンへ勉強に行き、1888年まで定期的に伯爵の学資援助を受ける
- 1888年 パリに出て、アカデミー・ジュリアンに入学
- 1889年 アカデミー・ジュリアンを去り、アカデミー・コラロッシに入学
年末、伯爵からの援助が打ち切られる
- 1894年 年末、「ジスモンダ」に主演するサラ・ベルナールのために最初のポスターを制作
- 1896年 煙草用巻紙(JOB社)、シャンパン(モエ・エ・シャンドン社)
- 1898年 バルカン諸国を旅行し、「スラヴ叙事詩」を作るための最初のアイデアを練る
- 1900年 パリ万国博覧会のボスニア=ヘルツェゴヴィナ館の装飾が銀賞を受ける
- 1901年 パリのロワイヤル街に内装を手がけたジョルジュ・フーケの店が開店する
- 1904年 アメリカに招かれる
祖国のための制作に専心するための資金作りとして、上流社会の人々の肖像画を描く
- 1906年 マル・ヒティロヴァーと結婚
ニューヨークの女子応用美術学校の教授に任命される
- 1909年 娘ヤロスラヴァ誕生
クリスマスにチャールズ・R・クレインが「スラヴ叙事詩」の計画に賛同
- 1910年 クレインの資金援助を受け、チェコに帰国
「スラヴ叙事詩」の作成に着手
- 1915年 息子イージーが生まれる。
- 1918年 オーストリア帝国崩壊
チェコスロヴァキア共和国の国章や最初の切手、紙幣のデザインなどを行う
- 1919年 「スラヴ叙事詩」の最初の11点をプラハで展示
- 1921年 「スラヴ叙事詩」の5点をシカゴ美術研究所とニューヨークのブルックリン美術館で展示
- 1922年 チェコスロヴァキア共和国に帰国(あるいは1923年初頭に帰国)。
- 1928年 記念碑的絵画「スラヴ叙事詩」をチェコ国民およびプラハ市に贈呈すると発表
- 1938年 肺炎にかかり、健康を害す
- 1939年 3月、ナチス・ドイツによりチェコスロヴァキア共和国解体
ナチスにより逮捕される
釈放された後の7月14日、プラハにて逝去

- 1992年 8月、ミュシャ財団設立